

# Lina LOHAS通信

## 1992年『地球交響曲／ガイアシンフォニー第一番』

龍村仁監督のドキュメンタリー映画『地球交響曲／ガイアシンフォニー』は、自主上映というスタイルでありながら、大変多くの人々の心をとらえ続けてきた映画であります。

「母なる星ガイア自体がひとつの大きな生命体である」という生物物理学者、ジェームス・ラブロックさんが提唱する有名なガイア理論を基に、インタビューと映像で綴ったオムニバス形式のドキュメンタリー作品です。国籍を超えた、様々な分野で大きな仕事を成し遂げた人物たちの姿を追う、メッセージ性の高いドキュメンタリー映画です。現在までに、シリーズで第一番から今年4月に上映が開始された第六番まで、それぞれに熱い思いのテーマでつくられていることを感じます。第一番～第五番までの5作品は、全国で210万人以上の方がご覧になっている、息の長い大ヒット作品となっています。

「地球交響曲」制作の発端は、龍村仁さんがNHKを退社後、独立して手がけたコマーシャル セゾングループ3分CM において、世界中の様々な人たちの人生を一人3分の枠で描くという“ガイアシンフォニー”のミニ版のようなものを制作していました。科学者、スポーツマン、大工さんなど、職業も多様な人々を50人ほど撮り続けて、オンエア後の反響で、世の中の人々が「こういうリアルタッチな人物像を見たがっている」と感じられたことが、“ガイアシンフォニー”につながっていった経緯だそうです。

一貫してテーマとして掲げているのが、「地球の中の私、私の中の地球」。1992年11月に公開された「第一番」では、登山家のラインホルト・メスナーさん、アフリカゾウの保護活動を行っているダフニー・シェルドリックさん、植物学者の野澤重雄さん、アイルランドのアーティスト、エンヤさんと、ケルト美術研究家の鶴岡真弓さん、そして元宇宙飛行士のラッセル・シュワイカートさんと、全部で6人の方々が登場し、体験に基づいた貴重なメッセージや映像が大きな反響を呼びました。

「<sup>ガイア</sup>地球の声が聞こえますか。」で始まります。

あなたの声を、風は確かに聴いているんです。山だって、耳を澄ましている。  
花や樹は、あなたが呼びかけていることを、もうとっくに知っています。

ところで皆さん、本当に嬉しいご縁といたしますか、このガイアシンフォニー  
第一番が、静岡市民文化会館中ホールで上映されることとなりました！！

= 静岡設計監理協同組合創立20周年記念事業 =

『地球交響曲 / ガイアシンフォニー第一番』

主催：静岡設計監理協同組合

後援：静岡市・静岡市教育委員会・静岡新聞社・静岡放送

会場：静岡市民文化会館 中ホール

日時：平成19年9月21日（金）

【開場】18：00 【開演】18：30

この静岡設計監理協同組合の方々から、リナ・グリーンへ特別にご招待券を  
頂くことができましたので、10名様に抽選で差し上げたいと思います！！

ご招待券をご希望の方は、9月15日（土）までに、リナ・グリーンまで  
お電話にてお申し込みくださいませ。 尚、その後の予定では、第二番・第  
四番も上映されるとのことですので、またその都度、お知らせいたします。



「例えば、考えられないような辛いことが自分自身に起こったこととして、  
絶望して自分も死んじゃうんじゃなく、その時初めてまた生き続けていく新  
しい自分の道を必死で探し、そうすることで人間が生き生きするというのは  
あるんです。今の時代背景もそうだと思いますが、辛いことや絶望してしま  
うような地球の未来の事に関して言えば、新聞を毎日見ていれば本当に心配  
なことだらけだけど、そういう状況に遭いながらそこで未来を考える絶好の  
チャンスだし、僕は大きく変わっていく、今までの価値観通りモノが運ばな  
いときに新しい価値観に気付き受け入れていく大きな転換期だと思います。  
それが出来るのが人間だと思っんですよ。だからその時は、とてもいい時だ  
と言えますね。」

～龍村仁さん インタビューより抜粋～



Lina Green

TEL 054-205-0308

